



ご当地 **太坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No.670

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

July
2025
令和7年

7



Contents

デンタルアイ	1
海老原 一芳	
理事会報告	3
会務日誌	4
警察歯科協議会だより	6
専門学校だより	7
女性歯科医会だより	8
ピンクのエプロン	10
檜山 典子	

表紙写真について

北総の小江戸・佐原の町並みと伊能忠敬旧宅
を散策してきました。

(社) 鹿行歯科医師会 出久根 亮一

茨歯会会員数の推移と 会費について



常務理事
海 老 原 一 芳

日頃より会務にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この1年間、地区長会などを通じて会費に関する資料を提示してまいりましたが、今回はデンタルアイの場をお借りして、茨歯会報に掲載されている「会員数」（みんなの写真館の下に掲載）をもとにご説明します。

会員数の変化についてですが、掲載されている会員数の表をご覧ください。令和5年4月30日現在の終身会員数、1種会員数、総会員数と、令和7年3月31日のそれを比較すると、興味深い傾向が見られます。総会員数は増加していますが、1種会員数は減少しており、その減少分はほぼ終身会員の増加分と一致しています。簡単に言えば、1種会員は減り続けているということになります。

会費の影響についてですが、1種会員の年会費は12万円です。それをもとに計算してみます。令和5年4月30日時点で1,111人いた1種会員が、令和7年3月31日には1,064人に減少しており、単純計算では今後年間約564万円の減収となります（減少人数は月ごとに異なるため、あく

まで目安の数値です）。

昨年、茨歯会の委員会や事務局の皆さんの努力により約800万円の節約が実現しました。そのため現時点では黒字を維持できますが、このような大幅な節約を毎年継続するのは困難です。

今後の見通しですが、今後2～3年間は毎年約30人の終身会員が増加し、令和10年頃からは毎年約50人が終身会員となる見込みです。これにより、会費収入は年間300万～600万円規模で毎年減少していく計算になります。

現在の会費のまま運営を維持しようとすれば、さらなる節約が不可欠ですが、これ以上の削減は厳しいのが現状です。1種会員を毎年50人程度増やすことができれば、現在の会費でも茨歯会の事業維持が可能かもしれません。そのため、より多くの1種会員に入会していただくための対策が求められます。

会費改定の決断についてですが、今後も茨歯会が必要な事業を継続していくためには、相応の財源が不可欠です。将来を見据え、今回は会費の値上げを決断いたしました。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

茨城県歯科医師会 会員数の変化

締 め 日	会員数 (減)	会員数 (増)	終身会員数	1 種会員数	会員総数
2025年 3 月31日	9	1	176	1064	1362
2025年 2 月28日	2	0	178	1070	1370
2025年 1 月31日	2	1	179	1072	1372
2024年12月31日	2	4	150	1094	1373
2024年11月30日	3	1	151	1093	1371
2024年10月31日	2	4	153	1093	1373
2024年 9 月30日	2	1	153	1092	1371
2024年 8 月31日	1	3	153	1092	1372
2024年 7 月31日	1	3	154	1091	1370
2024年 6 月30日	3	5	155	1091	1368
2024年 5 月31日	1	2	157	1090	1366
2024年 4 月30日	2	12	157	1089	1365
2024年 3 月31日	4	1	160	1088	1355
2024年 2 月29日	1	0	163	1089	1358
2024年 1 月31日	0	5	131	1114	1359
2023年12月31日	1	3	131	1111	1354
2023年11月30日	3	2	131	1110	1352
2023年10月31日	1	4	132	1110	1353
2023年 9 月30日	2	3	132	1111	1350
2023年 8 月31日	0	3	132	1113	1349
2023年 7 月31日	4	2	132	1112	1346
2023年 6 月30日	茨歯会報合併号のためデータなし				
2023年 5 月31日	1	5	133	1113	1346
2023年 4 月30日	2	6	133	1111	1342
合 計	49	71			

理事会報告

第2回理事会

日 時 令和7年5月15日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 役員室

報告者 柴岡永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 監査報告

4. 連盟報告

5. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 新規指定の歯科医院について

(4) 疾病共済金の支払いについて

(5) 第23回北関東摂食嚥下リハビリテーション 研究会への後援について

(6) 各委員会報告について

医療管理委員会、広報委員会、地域保健委
員会、社会保険委員会、専門学校、フッ化物
洗口プロジェクト委員会

(7) その他

6. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について

佐藤 聡先生 つくば地区 明海大歯卒
2種 承認

(2) 第175回定時代議員会の議案書（案）につい て

承認

(3) 本会代議員及び予備代議員の選出について

承認

(4) 本会委員会委員候補者の推薦について

承認

(5) 令和6年度備品の廃棄処分について

承認

(6) 第84回日本公衆衛生学会総会における示説 発表について

承認

(7) その他

【今後の行事予定について】

6月5日（木）

16時から 第3回理事会

6月26日（木）

14時から 第175回定時代議員会
代議員会終了後 第4回理事会

7月24日（木）

13時から 第5回理事会

15時から 第176回臨時代議員会

会務日誌

5月15日 第1回備品・消耗品監査を執行。土浦センターと茨歯会館にて、土地、建物、備品、消耗品の管理保管並びに整備状況について監査を行った。

出席者 飯塚監事ほか6名

5月15日 第1回業務会計監査を執行。業務並びに制度に関する監査（2月1日～3月31日）、会計に関する監査（令和6年度収支決算）を行った。

出席者 飯塚監事ほか5名

5月15日 第2回理事会を開催。入会申込みの受理、第175回定時代議員会の議案書（案）、本会代議員及び予備代議員の選出、本会委員会委員候補者の推薦、令和6年度備品の廃棄処分、第84回日本公衆衛生学会総会における示説発表について協議を行った。

出席者 榊会長ほか16名

5月15日 第1回選挙管理委員会を開催。役員選挙候補者の資格審査、日歯代議員・予備代議員選挙候補者の資格審査、役員選挙・日歯代議員選挙運営について協議を行った。

出席者 星野選挙管理委員長ほか8名

5月16日 県警捜査一課主催の多数死体取扱要領訓練が県警察学校にて実施され、本会の講師が口腔内所見採取について実習を行った。

出席者 櫻川警察歯科医ほか2名

5月21日 女性歯科医師の集いが日歯会館で開催された。第1部では基調講演として、「期待高まる女性歯科医師の活躍 ～国民皆歯科健診の実現に向けて～」の演題で日本歯科医師会の高橋英登会長が、「日歯 男女共同参画推進検討事業から見える女性歯科医師の未来」の演題で日歯・男女共同参画推進検討委員会の齋藤秀子元委員長が、「男女共同参画推進事業 ～埼玉県歯科医師会の取り組みを中心として～」の演題で埼玉県歯科医師会の中村勝文副会長がそれぞれ講演された。第2部では活動報告として、女性歯科医師の活躍支援に関わる取り組み状況について報告が行われた。

出席者 柴岡常務

5月21日 第2回社会保険正副委員長会議を開催。第2回委員会、理事会、審査、新規個別指導、ベースアップ評価料、疑義、保険請求のQ&Aについて協議を行った。

出席者 大野社会保険部長ほか3名

5月21日 第2回社会保険委員会を開催。疑義、保険請求のQ&Aについて協議を行った。

出席者 大野社会保険部長ほか21名

5月21日 第1回いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会運営委員会をWeb会議として開催。いばらきスポーツデンティスト資格更新に係る講演会、日本スポーツ歯科医学会第36回総会・学術大会、太陽生命カップでの救護及び補助活動について協議を行った。

出席者 荻野SHPいばらき運営委員長ほか7名

5月22日 日歯認定歯科助手講習会の第1回目を開催。開講式の後、「一般教養」についてマナー講師の中村八恵子先生が講義された後、「歯科助手の心得」の講義が行われた。

受講者 37名

5月22日 第2回広報委員会を開催。会報6月号の校正・編集作業、レディースコーナー執筆依頼、委員会スケジュール、茨歯会報執筆謝礼品のサンプル確認について協議を行った。

出席者 柴岡広報部長ほか5名

5月23日 第140回都道府県会長会議が日歯会館で開催され、時局問題について協議が行われた。

出席者 榊会長

5月23日 第1回オープンキャンパスを開催。ガイダンス、学校施設案内、体験学習を実施した。

参加者 10名

5月27日 第1回茨城県医療審議会・保健医療計画部会がWeb形式で開催され、各疾病・事業における「医療提供圏域」に基づく集約化等の方向性、「医療提供圏域」に基づく集約化等に向けた今後の対応方針・スケジュールについて協議が行われた。

出席者 榊会長

5月29日 第2回歯科助手講習会を開催。「歯科疾患の概要」「歯科診療の概要」「歯科医療の特質」について講義を行った。

受講者 36名

5月29日 日歯議事運営特別委員会がWeb形式で開催され、第205回定時代議員会の議事運営及び事前質問（地区代表・個人）の取り扱い、報告書の作成について協議が行われた。

出席者 榊日歯議事運営特別委員

5月29日 第1回防災危機管理運営小委員会を開催。今年度の警察歯科協議会について、JDAT研修会について協議を行った。

出席者 村居常務ほか13名

6月 2日 県地域包括ケア推進センター第1回運営協議会がWeb形式で開催され、令和7年度事業計画について協議が行われた。

出席者 鶴屋副会長

茨城県警察本部多数遺体取り扱い訓練

茨城県警察歯科医 小林 克男

茨城県警は5月16日金曜日、同県茨城町上石崎の県警察学校において、多数遺体取り扱い訓練を実施しました。訓練は、遺体を安置する施設の設置から、搬入後の流れについて人形を用い、遺体の検視や検案、身元確認、歯科口腔内所見採取、遺族への対応、遺体の引き渡し、搬出までの流れなどをチェックしました。

訓練は2011年3月に発生した東日本大震災と同規模の地震や津波が県内で発生し、多数の死者が出た場合を想定。県警、所轄警察官や茨城海保の保安官、医師、歯科医師ら約130人が参加しました。



青い遺体袋に入った人形が検視場へ運び込まれ、搬入した機動隊員が、受付担当者と発見状況

の詳細について情報共有しました。遺体は、警察官の検視後に、模擬遺体となった警察官の口腔内を歯科医師により口腔内所見採取が実施されました。



茨城県歯科医師会からは、警察歯科医会から担当の櫻川先生、馬場先生、小林が参加し、櫻川先生の指導の下、口腔内所見採取が実施されました。

多数遺体の取り扱いというきわめて非日常的な状況、劣悪な環境での警察歯科医師の活動が求められると考えられ、日々の警察歯科医師活動の重要性と、訓練の必要性を改めて感じた一日でした。





【スポーツ大会】 歯科技工士科

5月12日（月）、水戸グリーンボウルにて歯科技工士科の学生主催によるボウリング大会が行われ、1学年7名、2学年2名、専任教員2名が参加しました。

個人1位と、団体1位には豪華景品!?が授与されるということで、張り切って臨む学生の姿が見受けられました。

普段は授業が忙しく、学年間の交流があまりない中で、この日はスポーツをしながら楽しく会話もでき、ストライクやスペアが出る度に皆で盛り上がり上がっていました。ゲームが終わるころには、先輩後輩もお互い打ち解けて、親睦を深められたようです。

あっという間の時間でしたが、授業から解放され、楽しいひとときを過ごせました。体と心を少しリフレッシュできたので、また新たな気持ちで授業に取り組めるのではないかと思います。



ゲームスタート！



ゲーム後に全員で記念撮影

(文責 川崎)



令和7年 女性歯科医師の集い 報告

日時 令和7年5月21日(水)午後1時

場所 日本歯科医師会館 1階大会議室

茨城県女性歯科医会 柴岡 永子

○開 会

瀬古田精良専務理事

○挨拶

蓮池芳浩副会長

有意義な意見交換の場となることへの期待の言葉があった。

太田謙司日本歯科医師連盟会長

村上恵一同副会長

歯科会の声を社会政策へ反映するため政界へ届ける窓口の必要性について述べ、7月の参議院議員選挙において推薦候補者である比嘉奈津美参議院議員への支援と今後の活躍に寄せる期待を強調した。

○出席者紹介

各都道府県歯科医師会・女性歯科医師の会に所属する代表者約50名



第1部 講演

基調講演

「期待高まる女性歯科医師の活躍～国民皆歯科健診の実現に向けて～」

日本歯科医師会

会長 高橋 英登

歯科医療提供体制をはじめ歯科医療費の動向、歯科界の課題について述べた。さらに歯科界として女性が活躍できる整備は必須であり、良質な歯科医療提供の維持のためにも女性の力が必要であると改革の必要性を説いた。





特別講演 1

「日歯 男女共同参画推進検討事業から見える女性歯科医師の未来」

日歯・男女共同参画推進検討委員会
元委員長 齋藤 秀子

日歯として女性が活躍しやすい環境整備のための取り組みの経緯を説明した。さらにこれからの歯科医療がもつ多様なニーズへの対応を考える時、女性歯科医師の特性が活かされるべきであり、そのためには日本歯科医師会の組織力が必要であり、かつ重要であるとした。

特別講演 2

「男女共同参画推進事業～埼玉県歯科医師会の取り組みを中心として～」

埼玉県歯科医師会 副委員長 中村 勝文
埼玉県歯科医師会や東京科学大学同窓会における取り組みとアンケートから各々会員からの声や実情について説明があり、女性会員の活躍は女性だけでなく男性、現役学生など一体で取り組むことが重要であるとの見解が示された。

第2部 活動報告

意見交換

佐藤真奈美理事が司会を務め、まず日歯HP、日歯YouTube公式チャンネルより配信さ

れた「女性歯科医師インタビューワタシらしく輝くー」の紹介があった。

次に各県の女性歯科医師の活躍支援にかかわる取り組みの資料を共有し、各県の代表者より復職への支援、多様化する働き方への取り組みについて忌憚のない意見交換が交わされた。

活動状況紹介

米須敦子理事が総括も兼ねて、日歯と各都道府県による情報交換の継続を通して実態の把握と改善につなげることの必要性を訴えた。さらに将来的には「女性活躍」「男女共同参画」の文言がなくなる社会を願い、そのために今、私達はあえて「女性活躍」という文言を使い、そして活躍していることに理解を求め、性別、年齢に関係なく活躍できる社会を女性歯科医師の活躍推進WGの最終目標とした。

○閉 会

第3部 情報交換会（懇親会）

～ホテルメトロポリタンエドモント3階「千鳥」にて～

（※敬称略）





〒310-0911 茨城県水戸市見和2-292
公益社団法人
茨城県歯科衛生士会
TEL・FAX 029-253-5807
<https://ibaraki.jdha.or.jp>
E-mail jimu@ibaraki-dh.net

(公社) 茨城県歯科衛生士会 東西茨城支部 檜山 典子

「まだ仕事してるの?」「ほんの少しね」そんな会話をする年齢になりました。

長いこと歯科衛生士会に籍を置いていくなかなか経験できない仕事も舞い込んできます。先日テレビを見ながら40年前に舞い込んできた仕事を思い出しました。

テレビには今年4月から開催されている大阪・関西万博の様子が映し出されています。150以上の国のさまざまなパビリオンや展示物など…

40年前、結婚して少し過ぎたころ「つくば科学万博の歯科診療所」の仕事の話が舞い込んだのです。1985年3月～9月まで数人で交替勤務。通勤時間は電車とシャトルバスを乗り継いで約1時間。けっこうな長時間通勤です。でも科学万博に行ける!という好奇心のほうがり勝りその仕事を引き受けました。万博開催前の下見の段階からワクワクでした。

歯科診療所はこじんまりしていましたが、応急処置には充分対処できると説明があったようにひと通りの物が揃っていたようです。歯科医師の先生も交替での勤務でしたので、私は全日初対面の先生でした。一日に数人の方が「歯が痛い」「つめ物が取れた」と診察にみえました。一日数人と言っても万博会場の診療所です。いろいろな方がやって来ます。日本人の方や日本語ができる外国の方は問題ないのですが、何語を話しているのかわか

らない方も来ます。今なら手のひらサイズの翻訳機で対応できるでしょう。40年前にはそんな便利な機械はありません。すぐに通訳センターに電話します。その言語担当の方を電話口まで呼び出し、話が始まります。受話器が先生、患者さん、私とグルグル回ります。当時の電話機はコードレスではありません。太いコードがついています。ちょっと笑える光景でした。

やっと患者さんの主訴が何だったのか判明して治療に取りかかる先生。治療が終わり、笑顔でお礼を言われ、よかったですねと目でご挨拶。お礼にと自国のきれいなピンバッジを頂いたこともありました。

仕事でも個人でも何回も行ったつくば科学万博。あっという間の6か月でした。

今からさかのぼること約半世紀前、私が歯科衛生士として第一歩を踏み出したのは実家から徒歩約10分のまだ新しい歯科医院でした。先生、奥様、当時の同僚のお陰で「始めよければ」のスタートを切ることができました。今でも感謝の気持ちでいっぱいです。その後多くの方々に出会い、こんなに長く歯科衛生士を続けることができました。

そしてそう遠くない「終わり良し」のゴールに到達できるようにもう少し歩いていこうと思います。

みんなの写真館

Photo
Gallery



(社) 鹿行歯科医師会 出久根 亮一

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員 1067名
2種会員 111名
終身会員 176名
準会員 12名
合計 1,366名

会員数

令和7年5月31日現在

地 区	会員数（前月比）	
日 立	117	
珂 北	144	
水 戸	154	+1
東西茨城	72	
鹿 行	106	
土浦石岡	175	
つくば	151	+2
県 南	180	-1
県 西	155	+1
西 南	100	
準 会 員	12	
計	1,366	+3



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和7年7月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地の1

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <https://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進

編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。